

(2) 施策の方針

第5章 安全で快適な生活が送れるまち

分野(4) 道路整備

施策の方針① 道路・橋りょうの整備・維持管理

<目標とすべきまちの姿>

道路の安全性・快適性を確保するため、効果的かつ効率的な道路の整備が進められているとともに、計画的な舗装の修繕が進められています。

また、適切な歩行空間が整備されることにより、だれもが安心して道路を利用できる環境となっています。

災害が発生した際の緊急輸送路や緊急避難路が整備され、市民の安全が確保されています。通行に支障となる不法占用物が排除され、適切な道路管理を行っています。

1 事業評価結果一覧表

都市整備部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
都整-03	道(水)路調査事業	66,424	129,720	8.0	b	B
都整-04	道路台帳整備事業	65,535	91,644	3.3	b	B
都整-05	道路施設管理事業	88,313	132,620	5.6	b	B
都整-06	街路照明灯事業	35,960	45,454	1.2	b	B
都整-11	道路橋りょう管理運営事業	37,827	47,160	1.1	b	B
都整-12	交通安全施設維持事業	4,425	7,819	0.4	b	B
都整-13	交通安全施設整備事業	19,619	36,588	2.0	b	B
都整-14	道路維持補修事業	123,338	140,307	2.0	a	A
都整-15	道路新設改良事業	174,007	186,734	1.5	a	A
都整-16	橋りょう維持補修事業	19,345	34,617	1.8	b	B
都整-17	国県道対策運営事務	1,174	9,659	1.0	b	B
都整-18	国県道対策事業	26	8,511	1.0	b	B
都整-19	道路整備計画等運営事務	52	1,749	0.2	b	B
都整-40	街路樹維持管理事業	15,504	23,052	1.0	b	B
※小事業外	受託設計・工事管理	0	16,969	2.0	a	

2 平成26年度末の目標

都市整備部

交通の円滑化や安全性の確保のため、道路舗装修繕計画に基づく舗装修繕はもとより、交差点内やスクールゾーン等のカラー舗装化の実施や点検未実施の橋りょうの点検調査を実施する。また、道路環境については、市民等の要望も多く内容も多岐にわたるため、適正な対応の検討を進める。あわせて道路台帳及び橋りょう台帳のデータの電子化による情報管理のシステムの構築を図る。

環境については、継続的に路線ごとの樹木の維持管理に努める。

3 平成26年度の取組の評価

都市整備部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

道路舗装については、道路舗装修繕計画により、橋りょう修繕計画は、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき実施した。また、交差点内やスクールゾーン等のカラー舗装化を実施し、交通事故の削減を図る一方で市民等の要望についても作業センターと連携することで有効かつ効率的な対応を行い交通の円滑化及び事故の抑止を図った。環境への配慮については、当初の予定に沿った街路樹の選定等を実施し、住民要望にも対応でき、適切な街路樹の管理ができた。また、街路灯についても自治会からの要望により、市内に4基の街路灯を設置した。

4 今後の方向性

都市整備部

道路補修については、道路舗装修繕計画に基づき順次、整備を行っていき、橋りょうについては、全ての橋りょうの長寿命化計画を策定し、計画に基づいて合理的、効率的に維持管理を行う。環境への配慮については、街路樹の維持管理を道路管理者や愛護会と連携し道路環境保全に努め、街路灯については、LED照明への交換時期を検討する。

5 平成27年度末の目標

都市整備部

道路舗装については、道路舗装修繕計画により、橋りょう修繕計画は、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき引き続き実施する。また、交差点内やスクールゾーン等のカラー舗装化を実施し、交通事故の削減を図る。点検調査した橋りょうについては、長寿命化修繕計画を策定する。環境への配慮については、効率よく住民要望に対応できるよう街路樹の選定や病虫害対策を実施し、街路灯のLED化については、一部開始する。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・「道路・橋りょうの整備・維持管理」「交通安全道路対策」を計画的に実施した。
- ・「街路照明灯事業」については全照明灯の40%のLED化を実施した。
- ・「街路樹維持管理事業」では街路樹愛護会(22団体)に支援を実施した。市民団体との協働が具現化している。
- ・市内60橋の橋りょう長寿命化修繕計画を策定している。
- ・ペDESTリアンデッキの整備など、道路利用者の安全性・快適性を保ち良好な道路機能を保持するための業務を行っている。

2 課題・提言

- ・当分野は市民生活に密着しているが故に「市民要望」も多く、「計画性」「短期的優先順位」という相矛盾する命題を背負っているが、街路灯LED化の早期100%実現等、「更なる効率化」を進めたい。
- ・橋りょうは、架設後相当年数を経ており、経年劣化等による損傷が現れ、補修を行っているが、年間で実施が可能な箇所数に限界がある。
- ・大船駅東口及び西口ペDESTリアンデッキ並びに交通広場の利用者の安全性・快適性の向上以外は、具体的施策が分からない記述である。